
PRESS RELEASE

2015年3月11日ロンドン発

2014年の世界のプラチナ市場は不足

WPICの2014年の地上在庫は20%以上減少

2015年のプラチナ市場は不足が予想される。世界の需要は引き続き供給を上回る

2015年3月11日ロンドン発: 世界プラチナ投資評議会(World Platinum Investment Council)(WPIC)は本日、独立系として初めて無料で入手可能な世界のプラチナ市場の四半期分析である *Platinum Quarterly* 第2号の発行を発表しました。本レポートには、2014年第4四半期のプラチナ市場の詳しい解説など、2014年度のプラチナ需給に関する分析および2015年の市場予想が記載されています。

Platinum Quarterly はWPICの著作物で、白金族金属市場に関する独立機関であるSFA(Oxford)に委託され、同社が実施しているリサーチおよび詳細にわたる分析に基づいています。

***Platinum Quarterly* に記載されている主要データの概要:**

2014年の世界のプラチナ市場は推定70万オンス不足しました。このため、地上在庫の水準は前年同期比20%減少し、276.5万オンスとなりました。

- 2014年には上半期と下半期にそれぞれ特徴的な出来事がありました。上半期は、南アフリカで前例のない鉱山ストライキが発生した結果、在庫が90.5万オンス減少しました。下半期は、主として短期的な投資資金の流出が原因となり、20.5万オンスの余剰となりました。

2014年の世界のプラチナ供給量は722.5万オンスとなり、前年比8%減となりました。

- 南アフリカでのストライキが5カ月続いたことにより、南アフリカ全体の鉱山産出量は2013年と比較して128.5万オンス減少しました。生産は下半期に再開されたものの、生産量は2013年の水準を依然下回りました。
- 2014年の世界におけるプラチナのリサイクルは、自動車触媒リサイクルが10.7%増加したことなどから前年をわずかに上回りました。

PRESS RELEASE

2015年3月11日ロンドン発

2014年の世界のプラチナ総需要は792.万オンスとなり、前年比7%減となりました。

- 2014年は、需要の主要セグメント（自動車、宝飾品、工業）はいずれも成長し、合計で20万オンス増加しました。
- 自動車触媒需要は2014年9月に施行された西ヨーロッパの法改正が主な要因となり、3.5%増となりました。2015年には改正後のプラチナ担持量の影響が本格的に現れると予想されています。
- 工業用需要は3%増となりました。これは主に、石油セクターでプラチナ消費が増加したことに起因しています。
- 宝飾品セグメントにおける2014年の需要は一見すると1.5%増と小幅な増加にとどまっていますが、状況は複雑でした。例外的な構造上の問題により、プラチナの最大市場である中国の需要が抑制された一方、北米の回復とインドにおける販促活動の活発化が相まって、プラチナ需要は6.5万オンス増加しました。
- それにもかかわらず、2014年は前年比の投資需要の大幅減少がこうした増加を相殺してあまりあるものでした。2013年は南アフリカのETFが新しく発売されたことによって例外的な成長がみられましたが、2014年には持続しませんでした。

世界のプラチナ市場における透明性の向上と情報の提供に対するWPICの長期的な取り組みの一環として、本日発表された *Platinum Quarterly* には2015年通期の見通しが記載されています。見通しの要約は以下の通りです。

- 2015年の世界のプラチナ市場は依然として不足状態が継続しますが、不足は2014年の水準を下回ります（2014年の70万オンスに対し2015年は23.5万オンス）。
- 世界の地上在庫の水準はさらに低下し、2015年を通じて8%減少すると予想されます。
- 2015年には世界の精鉱生産は拡大するものの、南アフリカでの産出量が2013年の水準を上回る可能性は低いとみられます。
- 2015年の世界のプラチナ総需要は、工業用需要の9%増加が牽引し、増加すると予想されます。

WPICのCEOであるPaul Wilsonは次のように述べました。

「昨年11月にWPICが設立されてから第2号となる本日のレポートでは、2014年は多くの点で特異な一年だったものの、長期にわたるテーマは持続していたことが示されています。」

PRESS RELEASE

2015年3月11日ロンドン発

「南アフリカでの5カ月間にわたる鉱山ストライキが供給に固有の影響を及ぼし、2013年の新しいプラチナETFの急速な普及は持続し難いことが判明すると、投資需要は減少しました。しかし、WPICのデータセットの2年目、3年目と連続して市場における不足が続いており、長期的なトレンドは継続しました。また、自動車触媒、宝飾品、工業という主要セグメントにおける需要も引き続き増加しました。」

「本日発表した2015年の予想では、主要な需要セグメントが引き続き成長するため、供給が回復しても市場では不足が続くことも示しています。Platinum Quarterly レポートが提供する深い洞察によって、WPICは持続可能な世界の投資需要を喚起できると考えております。」

Platinum Quarterly の今号をダウンロードする、あるいは今後のリサーチを購読するには、WPIC ウェブサイト(www.platinuminvestment.com)をご覧ください。

供給、需要、地上在庫の概要

PRESS RELEASE

2015年3月11日ロンドン発

	2013年	2014年	2015年 予想	2015年 予想 /2014年 成長率 (%)	2014年 第3四半期	2014年 第4四半期	2014年 上半期	2014年 下半期
プラチナ需給バランス(千オンス)								
供給								
精鉱生産量	6,070	4,815	5,710	19%	1,315	1,395	2,105	2,710
南アフリカ	4,355	3,070	4,005	30%	865	965	1,240	1,830
ジンバブエ	405	400	420	5%	95	95	210	190
北米	355	390	385	-1%	105	105	180	210
ロシア	740	740	690	-7%	200	175	365	375
その他	215	215	210	-2%	50	55	110	105
生産者在庫の 増加(-)/減少(+)	-215	+385	+90	-77%	+65	-25	+345	+40
総鉱山供給量	5,855	5,200	5,800	12%	1,380	1,370	2,450	2,750
リサイクル	1,985	2,025	2,165	7%	575	485	965	1,060
自動車触媒	1,120	1,240	1,435	16%	365	310	565	675
宝飾品	855	775	725	-6%	205	175	395	380
工業	10	10	5	-50%	5	0	5	5
総供給量	7,840	7,225	7,965	10%	1,955	1,855	3,415	3,810
需要								
自動車	3,135	3,245	3,370	4%	775	810	1,660	1,585
自動車触媒	2,995	3,095	3,210	4%	740	770	1,585	1,510
自動車以外	140	150	160	7%	35	40	75	75
宝飾品	2,945	2,990	3,085	3%	745	685	1,560	1,430
工業	1,510	1,555	1,695	9%	365	410	780	775
化学	590	585	675	15%	155	140	290	295
石油	75	145	150	3%	35	35	75	70
電気	190	190	195	3%	50	50	90	100
ガラス	150	115	125	9%	10	35	70	45
医療および生物医学	235	240	255	6%	50	75	115	125
その他	270	280	295	5%	65	75	140	140
投資	925	135	50	-63%	-180	-5	320	-185
バー、コインの増減	-10	35			10	35	-10	45
ETF保有分の増減	900	215			-95	-30	340	-125
取引所が保有する 在庫の増減	35	-115			-95	-10	-10	-105
総需要	8,515	7,925	8,200	3%	1,705	1,900	4,320	3,605
残高	-675	-700	-235	-66%	250	-45	-905	205
地上 在庫	4,140*	3,465	2,530	-8%	2,810	2,765	2,560	2,765

出所: SFA (Oxford)、* 2012年12月31日時点

以上

PRESS RELEASE

2015年3月11日ロンドン発

メディア関係のお問い合わせは、CNC コミュニケーションズまでご連絡ください。

Simon Evans

電話: +44 (0) 20 3219 8809 / 携帯電話: +44 7812

590682

wpic@cnc-communications.com

編集者への注記:

世界プラチナ投資評議会 (World Platinum Investment Council) について

世界プラチナ投資評議会 (World Platinum Investment Council Ltd.) (WPIC) は客観的かつ信頼できるプラチナの市場情報に対する投資家の需要の高まりに応えるために結成された、現物プラチナ投資の世界的な市場機関です。WPIC の使命は、実用的な洞察と対象を絞った製品開発の両方を通じて、現物のプラチナに対する全世界の投資家の需要を喚起することです。WPIC は 2014 年に、南アフリカの主要プラチナ生産者 6 社である Anglo American Platinum Ltd、Aquarius Platinum Ltd、Impala Platinum Holdings Ltd、Lonmin plc、Northam Platinum Ltd、Royal Bafokeng Platinum Ltd によって設立されました。

詳細については、www.platinuminvestment.com をご覧ください。

SFA (Oxford) について

2001年に設立されたSFA (Oxford)は、白金族金属市場に関する最も重要かつ独立した機関のひとつとみなされています。同社の綿密な市場調査と正確性は、鉱山、市場からリサイクル業者に至るまでの広範なコンサルティングだけでなく、比類のないグローバルな業界ネットワークによって裏付けられています。

SFAは、広範かつ様々な業界の専門的技術や知識を備え、それぞれがバリューチェーンのコア領域を専門とする11名の専属PGMアナリストや、海外を拠点とする社員から構成されるチームを有しています。

SFAは、業界の将来を左右する最も難しい質問に対して回答することができます。

詳細については<http://www.sfa-oxford.com> をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属のひとつで、その特有の品質により、いくつかの需要セグメントにおいて非常に価値のあるものとなっています。プラチナ固有の物理的および触媒上の特性により、工業用途における価値が確立されていると同時に、プラチナ固有の貴金属としての属性により、高級宝飾品用金属でもあります。

PRESS RELEASE

2015年3月11日ロンドン発

プラチナの供給は、一次鉱山生産およびリサイクルという2つの主要ソースからもたらされます。リサイクルは通常、自動車触媒の耐用年数終了と宝飾品のリサイクルからもたらされます。過去5年にわたり、年間プラチナ供給量（精製済みオンス）の72%から77%は一次鉱山生産によるものです。

プラチナに対する全世界の需要は増加しており、ますます多様化しています。プラチナの需要には、自動車触媒、工業、宝飾品、投資需要という4つのコアセグメントがあります。

過去5年間、自動車触媒のプラチナ需要は、需要量全体の37%から41%を占めています。その他の様々な工業用途のプラチナの使用は、世界の需要量全体の20%をやや上回る程度です（5年間の平均値）。同期間における全世界の宝飾品の年間需要は、平均してプラチナ需要量全体の34%を占めています。投資がプラチナ需要量に占める割合は最も小さいながら、過去5年間の変動は最大で、需要量全体の2%から11%を占めています。